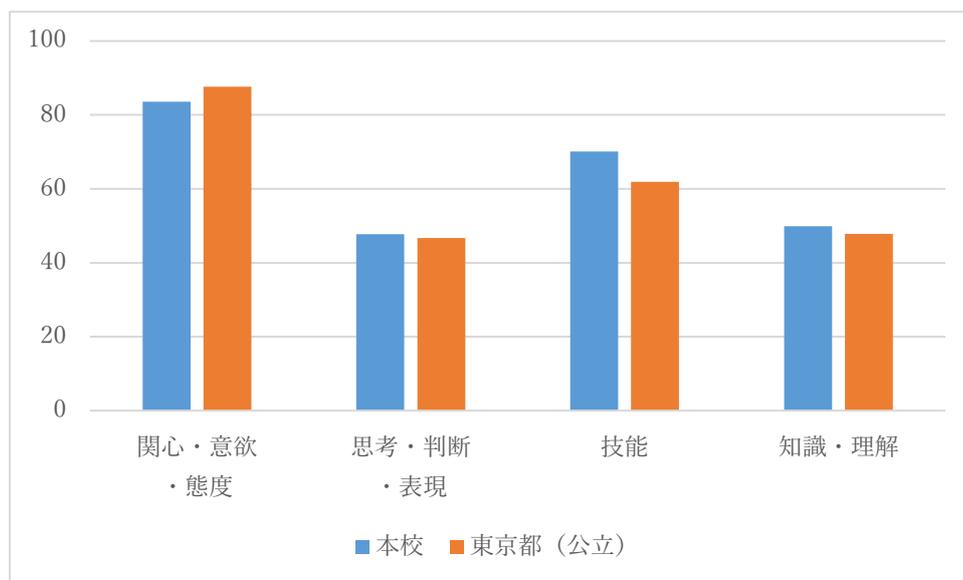


# 理科（児童・生徒の学力向上を図るための調査）

## 1 観点別の正答率についての分析

### （1）理科：A 教科の内容



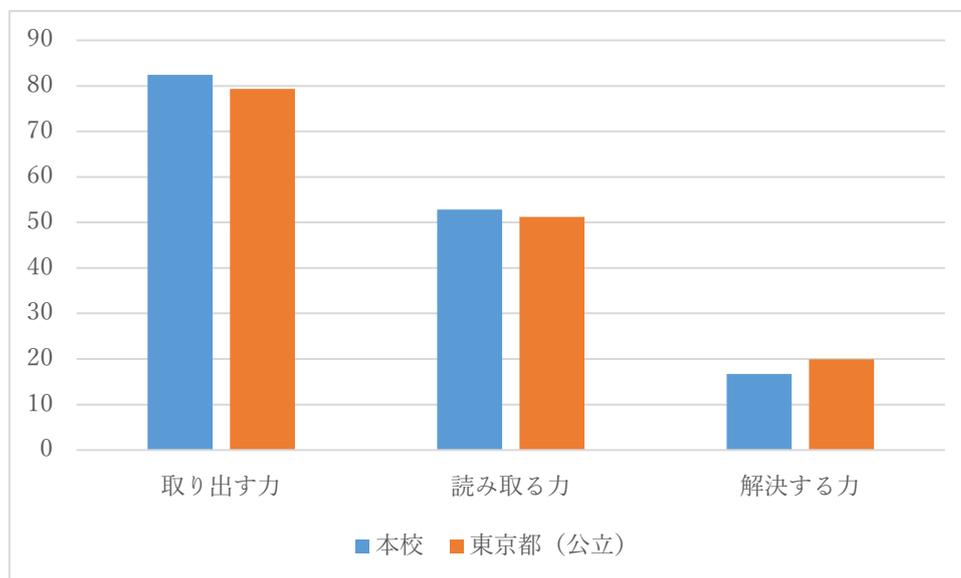
- ① 思考・判断・表現と技能、知識、理解については東京都の正答率を上回った。
- ② 関心・意欲・態度については、東京都の正答率を下回った。

### 結果からの考察

授業では実験を通して考察を行っている。また、実験方法について手順の一つ一つの意味を確認しながら進めているため、技能や、思考・判断・表現のポイントが上がったと考えられる。また、復習を取り入れながら授業を行っているため、知識・理解のポイントも高くなったと考えられる。

しかし、関心・意欲・態度については東京都の正答率を下回ってしまった。授業では科学に関する教科書以外の内容も取り入れているが、難しく感じたり、計算が苦手な生徒が多かったりしているようである。身近な内容を分かりやすく説明するように心がけていきたい。

## (2) 理科：B 読み解く力に関する内容



- ① 取り出す力、読み取る力が東京都の正答率を上回った。
- ② 解決する力が東京都の正答率を下回った。

### 結果からの考察

資料から比較・関連付けて読み取る、また、必要な情報を正確に取り出すことはできているため、最終的にそれらの力から、理解・解釈・推論して解決できるように指導していきたい。

## 2 授業改善のポイント

復習を取り入れながら授業を行っているため、科学の事象については内容を理解できている。科学に関する関心を高めさせるため、授業の中で身近な話を分かりやすく伝えていく必要がある。

また、実験の資料やデータを活用し、課題を解決していくような授業展開をしていく必要がある。